

第11回やまねこ博覧会 開催報告

開催期間: 令和4年10月15日(土)、16日(日)

開催場所: 京都市動物園

絶滅の危機に瀕しているツシマヤマネコの現状や、その保全に関する取組をより深く知っていただくために「やまねこ博覧会」を開催しました。2012年から始まり、今年で11回目の開催となりました。

来園者 15日(土) 3,864人 晴

16日(日) 4,794人 晴



キーワードラリー (両日)

ツシマヤマネコの普及啓発チラシを参加証として、園内7か所に散りばめられたキーワードを集めてもらいました。また、キーワードと共に全国で飼育されているヤマネコ30個体の等身大写真も掲示し、楽しみながら学べる内容としました。キーワードを完成させた方には先着で当園の飼育個体をプリントしたシールをプレゼントしました(2日間で200枚)。

参加者: 15日369名、16日435名



サクラちゃんと一緒に (両日)

当園の「サクラちゃん」と対馬市の「たまひめちゃん」による記念撮影イベントを行いました。人数制限は設けず、ふれあいは行わない方法で実施しました。

参加者: 15日120名、16日174名



協力団体によるブース出展（両日）

対馬市役所、一般社団法人MIT、NPO法人ツシマヤマネコを守る会、NPO法人どうぶつたちの病院、つしま大石農園、岐阜大学動物繁殖学研究室、関西大学第一高等学校・中学校生物部にご協力いただきました。ツシマヤマネコの保全活動の紹介やグッズ販売などが行われ、両日ともに多くの来園者がブースを訪れ賑わっていました。



獣医が行く！（15日）、飼育員ガイド（16日）

15日には定例イベントの「獣医が行く！」を開催し、獣医師と飼育員が高齢個体の体調管理や非公開施設での繁殖の取組についてガイドを行いました。参加者 98名

16日には飼育員による展示個体の紹介や生態などに関するガイドを行いました。参加者 85名



押し・塗ろ・描こ ツシマヤマネコ (15日) 紙芝居「ツシマヤマネコのシマ」 (16日)

15日にはツシマヤマネコをテーマに、消しゴムハンコを押して塗り絵をしたり、絵をかいたりする「押し・塗ろ・描こ ツシマヤマネコ」を実施しました。家族連れで参加される方が多く、みなさん自由に楽しくお絵かきをしていました。参加者 96名

16日には芝生広場でツシマヤマネコの紙芝居「ツシマヤマネコのシマ」(【作】キム・ファン【絵】吉野由紀子)を上演しました。参加者 63名

どちらも小さなお子様がつしまやまねこを知るきっかけとなる内容でした。



ツシマヤマネコ飼育10周年感謝状贈呈式 (16日)

当園のツシマヤマネコ飼育10周年を記念して、対馬市から感謝状が贈呈されました。今後もツシマヤマネコの普及啓発と飼育下繁殖事業に貢献できるように取り組んでいきます。頂いた感謝状は、イーストギャラリーに展示しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。



写真展「対馬とヤマネコ」

ツシマヤマネコの生息地である対馬の風景や、当園で飼育されているツシマヤマネコの様子を紹介する写真展を開催しました。

開催期間:10月4日(火)~10月30日(日)



やまねこ講演会（16日）

講演は計3題で、ツシマヤマネコの保全に関わる専門家たちのお話を聞くことができるということもあり、定員いっぱいの方に参加していただきました。（参加者 72名）

「対馬とヤマネコと私」（NPO法人どうぶつたちの病院 越田雄史）

「福岡市動物園におけるツシマヤマネコ飼育下繁殖の取り組み」

（福岡市動物園 斎藤裕樹※リモート講演）

「ツシマヤマネコの保全に向けた研究」

（京都市動物園 伊藤英之）



限定公開動画 「もっとキイチに大接近」

当園で飼育しているキイチの血縁の話、日常の飼育やケアの話を動画をYoutubeで限定公開しました。

開催期間：10月15日（土）～10月31日（月）

SNS投稿で景品をもらおう！

京都市動物園の公式Instagramのアカウントをフォローし、指定のハッシュタグ「#やま博京都2022」をつけて投稿することで、ツシマヤマネコのオリジナルカレンダーをプレゼントする企画を実施しました。

参加者 36名

